

令和4年度厚別南地区センター運営協議会会議録

令和5年2月15日（水）14:00～15:00
厚別南地区センター 集会室A・B

1 出席者

| 構成区分(人数) | 構成団体（機関） | 役職・代表者等 |
|--------------------|-------------------|-------------------------------|
| 札幌市（3） | 札幌市厚別区市民部 | 地域振興課長 地域活動担当係長、担当者 |
| 指定管理者（2） | 札幌市厚別南地区センター運営委員会 | 会 長 牧野 弘志 事務局長 本居 文男 |
| 利用者団体（2） 〔任期2年〕 | チロの会 | 代 表 栗原 真理 |
| | 太極拳みずほ同好会 | 代 表 小川 敏雄 |
| 地元町内会等（2） | 青葉自治連合会 | 会 長 土田 義也 (地区センター運営委員会副会長) |
| | 厚別南連合町内会 | 副会長 吉岡 敏幸 (地区センター運営委員会副会長) |

2 議事内容（概要）

(1) 令和4年度 業務実績について

【事務局説明】（資料3、4）

令和4年4月から令和5年1月までの①利用状況、②事業実績（講座・地域交流事業）について事務局から報告があった。

主な内容としては、貸室、図書室の利用状況とも、コロナ禍前の令和元年度の実績には達していないが、徐々に回復している。昨年度までほとんど実施できなかった講座は、ほぼ実施できた。参加希望者が定員を上回る講座が多く、参加者の満足度も高くなっている。地域交流事業も着実に実施してきたが、新型コロナウイルス感染者数が増えた時期もあり、毎回大勢の参加があるステージイベントや健康フェア、映画会などは見送った。

【意見交換】

(委員) 3年振りに文化祭を開催し、来館者のアンケートを実施したと思うが、結果はどうだったか。

(事務局) アンケートでは、ほぼ100%の方々から満足との回答があった。開催を待望していたことの表れではないか。

(委員) コロナ禍の前は2日間開催し、抽選会などもあったが、ややマンネリ化していたのではないか。ステージと展示だけに絞り、1日限定の開催がかえって良かったのではないか。

(委員) サークルにとっても、ステージ発表の機会があったことは良かった。動きのあるステージ発表では、ステージの大きさがもう少しあると良い。スペース的には難しいかもしれないが。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策の実施状況について

【事務局説明】(資料5)

手指消毒、体温測定など、行政から示された感染予防対策を徹底したほか、利用者が触れる機会の多い館内の備品や設備の大半を抗菌コーティング化した。

(3) その他

コロナ禍で休止してきた「地域の憩いの場づくり施設活用事業」のうち、①運動器具を無料で利用できるプレイルームと、②貸室に空きがある場合、無料で開放する事業の再開について、事務局から説明があった。

(参考資料「お試し開放事業」案)

再開にあたり、地区センター運営委員会での議論を踏まえ、この事業の本来の趣旨目的である「地区センターを利用したことのない層、特に若い世代や子育て世代などの掘り起こし」を主眼とした事業とする旨の見直し内容の説明があり、各委員の賛意が得られたことから、①は3月中～下旬、②は4月上旬の再開を目指し、引き続き事務局で細部を詰めることとした。